



町村の垣根を越えて住民の安全を

西部町村合同避難所訓練



避難者に非常食などが配られる

11月3日、山村開発センターで、鳥取県西部町村合同避難所運営訓練が行われました。この訓練は、災害発生に備え、県西部7町村の職員が協力し、避難所を開設および運営ができるよう毎年各町村で行われています。午前9時15分に避難所が開設されると、9つの自治会と福祉施設などから約40人が避難。会場内はダンボールで仕切られ、健康状態の聞き取りも行われたほか、町赤十字奉仕団が非常食を配り、災害発生時さながら真剣に取り組む様子がみられました。

“今日あることに” 感謝と長寿のお祝い

黒坂・菅福地区手づくり敬老会



長寿を祝う食事も。心和む敬老会に

10月14日、町公民館で、黒坂地区コミュニティ推進協議会（中原明会長）主催の手づくり敬老会が開かれました。当日は、黒坂・菅福地区の75歳以上の高齢者60人が出席。光佳流芳扇会の新舞踊や大下親子（伯耆町）による演芸が披露され、にぎわいました。また、長寿を健康を祝い、お楽しみ抽選会も開かれました。出席者は普段会えない人との会話も弾み、楽しいひとときを過ごしました。

たたら屋の巻
文＝伯耆国たたら頭彰会 副会長 佐々木幸人
第6回 「鉄山師近藤家」 たたらマイスターが、あなたを奥目野たたらの世界に引き込みます。



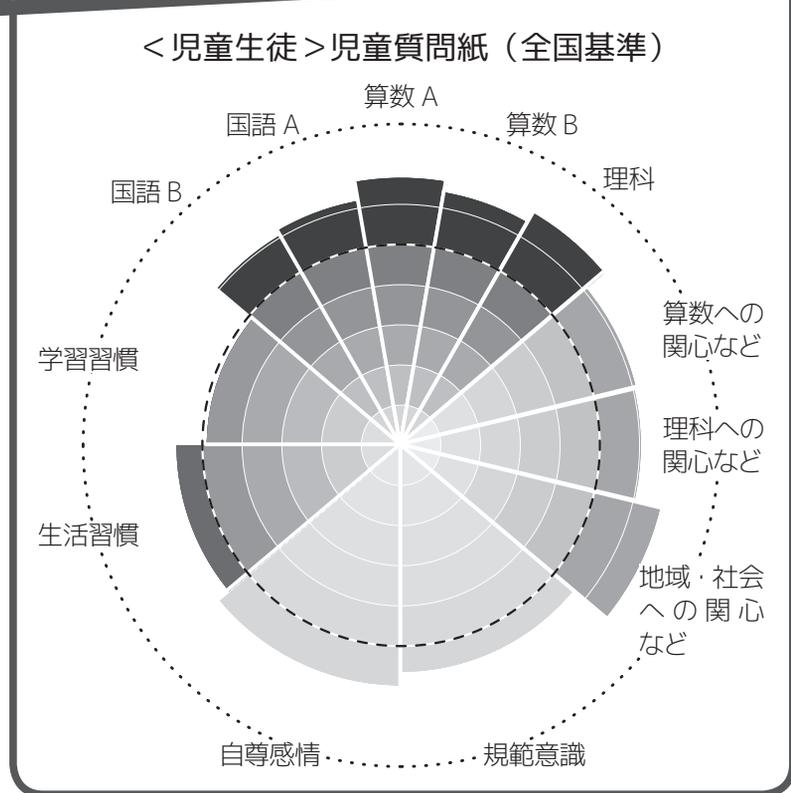
坊主石は、根雨公会堂（現日野町歴史民俗資料館）で見ることができる

江戸時代のたたらに対する政策は藩によって異なっていた。松江藩は絲原家、櫻井家、田部家など十家に限定したし、千草は天領で規制が厳しかった。しかし、伯耆では真加金さえ払えば比較的自由にたたらをすることが出来

たようだ。そのため、多くの鉄山師と呼ばれる人が財を成したのであるが、その中に備後（広島県）からやってきた一族もあった。江戸中期の日野は緒方家や手嶋家などがすでにたたらをしてい

たので、その一家は日南の山奥での操業を余儀なくされた。しかし、長い年月をかけて次第に事業は拡大し、江戸末期には日本を代表する鉄山師になった。それが、近藤家である。根雨の町では近藤家の繁栄の跡をあちこちで見かける。今の本家屋敷は江戸時代末期に建てられたものであるが、つい先日、鳥取県保護文化財に指定された。その向かいにある町公舎は出店近藤家の屋敷であった。さらに製鉄技術の研究に優れた勝瀬家、郡会議員になるなど政治手

調査結果チャート（日野町小学校）



全国学力・学習状況調査 の結果をお知らせします

児童、生徒への指導の充実や、学習状況の改善などに役立てるため、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、『全国学力・学習状況調査』が今年4月に行われました。

国語、算数・数学、理科の調査と質問紙調査（生活習慣、学習意欲・環境などの調査）が行われました。

・各教科のAおよびBは正答率、ほかの項目は質問紙調査での肯定的な意見を、全国平均と比較して表しています。

・中央の-----線は全国平均です。-----線より外側に出ている項目は全国平均以上、-----線より内側は全国平均未満を表しています。外に広がっている項目ほど、正答率が高い、肯定的な意見が多い結果を表しています。（中学校の結果も同様です）

■小学校では

▼国語、算数、理科ともに、バランスよく力をつけています。

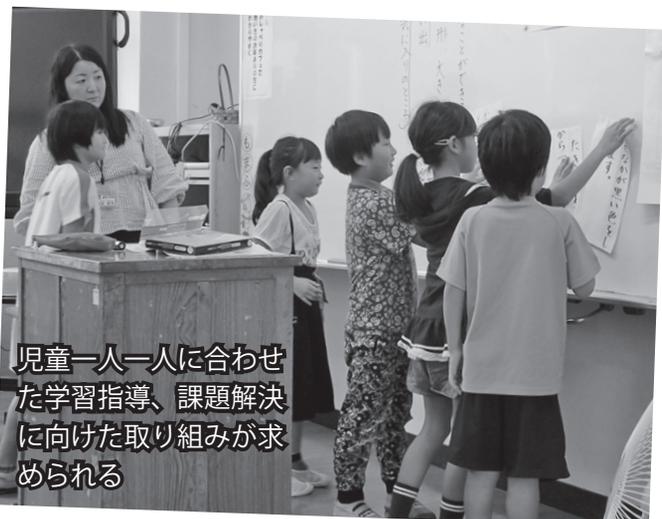
国語は、A問題で全国平均正答率を上回ったものの、B問題では若干下回りました。また、A問題、B問題それぞれに、全国平均正答率を上回っている児童が半数以上いますが、A問題、B問題ともに平均正答率を上回った児童は半数を少し割り込んでいます。

学習指導要領の領域等の平均正答率は、書くこと（書く能力）については全国値を上回っているものの、話すこと・聞くこと（話す・聞く能力）と読むこと（読む能力）については、下回る結果でした。

算数は、A問題、B問題とも平均正答率を上回りました。A問題では、平均正答率を上回っている児童が7割近くいるのに対し、B問題では平均正答率を上

回った児童は半数以下となつています。また、A問題、B問題ともに平均正答率を上回った児童も、半数以下に止まっています。学習指導要領の領域等の平均正答率は、ほとんどの区分で全国値を上回りました。

理科は、平均正答率を大きく上回り、平均正答率を上回っている児童は、7割近くありました。A問題、B問題ともに平均正答率を上回った児童も半数以上でした。学習指導要領の領域等の平均正答率は、ほとんどの区分で全国値を上回りました。



児童一人一人に合わせた学習指導、課題解決に向けた取り組みが求められる